資料2

就労支援部会について

**１　令和５年度の運営について**

1. 開催時期

　　令和５年8月頃、令和６年1月頃の2回実施予定

(2) 部会構成

くらしごと、市内福祉事業所6か所、七生特別支援学校、八王子ハローワークの計9団体

**２　令和４年度の協議内容の報告**

1. 各事業所の運営についての情報共有

・昨今の原油価格高騰に対する事業所運営への影響（販売食品の値上げ、グループホーム家賃の見直し検討等）

・利用者の高齢化、重度化によるプログラムの見直し等の必要性

1. 地域共生型の就労継続支援B型事業所「たまてばこ」見学会の実施

　　　　　・従来の障害福祉分野の枠組みに捉われない、地域に根差した共生型の事業所運営を視察

1. 部会長交代の打診と今後の運営方針について

・部会の構成員の状況から、議題が一般就労から福祉就労に移行している点を踏まえ、伊藤部会長より交代の打診あり。

・R5年度以降の部会運営についてのアンケートを実施。後任の部会長の選定方法については、事務局一任という結果となる。

・部会で新たな部会長の立候補がなかったこと、そして、部会の運営が転換期であることを踏まえ、伊藤部会長に1年間部会長の継続を依頼し、承諾をいただいた。

**３　現状と課題、令和５年度の協議内容について**

1. 部会の現状と課題について

・参加事業所の現状や構成の状況等から、就Bを中心とした話しかできていない

　→ “就労支援部会”は地域自立支援協議会の部会としての位置付けであるため、本来は一般・福祉就労両方を扱う議論の場が望ましい。

→現在は部会の位置付けがはっきりしておらず、構成員の立場も異なるため、具体的な議論につながっていない

1. 今後の運営と部会長の選任について

・就労支援連絡会がR4年度にて現体制が終了となることを踏まえ、部会の再編成を検討。

・これまでの「福祉就労の意見交換の場」ではなく、就労について俯瞰的な視点で意見交換のできる場を目指していく。

・部会構成員の再検討も視野に入れ、次年度改めて部会運営と部会長の選任について協議を行う。